

～新渡戸記念の～

『言葉の院外処方箋』

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第36回『「新渡戸稲造記念 がん哲学学校 課外教室」

～ 「自分の力が 人の役に立つと思う時は 進んでやれ」 ～』

難治性“かゆみ”の発症機構解明と予防・治療法開発の研究基盤構築：環境医学研究所・順天堂かゆみ研究センター』主催の『第6回 学術シンポジウム ～ 難治性かゆみの克服を目指して ～』に出席した。 【総合司会】海老原伸行 先生（順天堂大学大学院医学研究科 環境医学研究所 副所長）もと、【挨拶】小川秀興 先生（学校法人 順天堂 理事長）、【イントロダクション】高森建二 先生（順天堂大学大学院医学研究科環境医学研究所所長・順天堂かゆみ研究センター（JIRC）センター長）を拝聴後、『第11回 勝海舟記念下町（浅草）がん哲学外来シンポジウム』に赴いた（浅草三業会館に於いて）（gaz）。

筆者は、『特別講演：島菌進 先生』（上智大学グリーンケア研究所所長）の司会の機会が与えられた。 島菌進 先生の「デーケン先生、死生観、死生学」について講演は、大変勉強になった。 今年2020年9月6日に逝去された 上智大学名誉教授 アルフォンス・デーケン 先生（1932-2020）の「ユーモア & ホスピス（Hospice） & ターミナルケア（終末期ケア）」のお話は、近代ホスピスの基礎を築いた女医のシシリー・ソンドース（Cicely Saunders）の、「セント・クリストファー・ホスピス（St. Christopher's Hospice）」を2014年 wifeらと20名で訪問したことが、鮮明に蘇って来た。 『新渡戸稲造記念 がん哲学学校 課外教室 「樋野興夫 先生と行く がん哲学カフェ in UK & 緩和ケアの祖を訪ねる旅（2014年3月24日～28日）～「近代医学において緩和医療の重要性を強く強調したとされ、現在の緩和ケアの理念を築いたとされるシシリー・ソンドースゆかりのホスピスと、英国の患者会の集まり（Death Cafe）との交流を目的としたツアーです。 St. Christopher's Hospice と St. Joseph's Hospice の両ホスピスで施設見学とセミナーに参加し、英国で初めてとなるがん哲学カフェを、Death Café & がん哲学レクチャー（質疑応答含）と共同で開催します。英国の医療従事者と患者の国際交流をめざします。」～』と紹介されていた。 本当に懐かしい貴重な思い出である。

『第11回 勝海舟記念下町（浅草）がん哲学外来シンポジウム』では、川田龍平氏（参議院議員）も Zoom 講演「よりよく生きることを考え、将来につなぐ よく考えて生きる」をされた。1年来の再会であった。コロナが収まり 来年のシンポジウムでは、対面で「対談」講演をしたいものである。「自分の力が人の役に立つと思う時は 進んでやれ」（新渡戸稲造）の教訓が生きる。

住み慣れた街で 自分らしく勇気をもって生きる!!

第11回 勝海舟記念
下町(浅草)
**がん哲学
外来**
シンポジウム

令和2年
12/19±
14:00 ~ 18:00
WEB開催

“がん”によっても
“がん”では死によい。
生きることの大きな意味を考える
浅草からのメッセージ



久木イヅリーと墨田川を懐くこの街で、
われ、浅草～墨田の“がん哲学”の礎となる

“前を向いて未来に向かって生きる”

人の人生は一人一人大事なもので、限りある人生の中でも、自分が自分を一番好きで応援できる人生は素晴らしいものだと思います。今年の勝海舟記念下町浅草がん哲学シンポジウム2020は、この人生を“前を向いて未来に向かって生きる”ことをテーマに開催いたします。10年の流れの中で、色々な人との出会いがありました。街の中で人生を一生懸命生きている人と、そしていい覚悟で生き切った人たちが心の交流を続けています。同じ土地で、同じところで語り合える仲間がいることは幸せの一番の宝になります。いい時間を一緒に過ごしましょう。

【勝海舟記念下町浅草がん哲学外来主宰 宮原富士子】

- 14:00 オープニングリマークス 宮原富士子(勝海舟記念下町(浅草)がん哲学外来 主宰)
- 14:15 「前を向いて生きること 地道に日々を大切にすること 浅草と熱海を超えてみんながつながること」
／安達昌子先生(さくら醫院)
- 14:25 「台東区の仲間へのエールと感謝 クラウドファンディングで得たもの」
／廣橋 猛 理事長
- 14:40 **がんを哲学で考える…その学びの多さへの気づき がん哲学外来のお話**
／あずま在宅医療クリニック 院長 東英子(医師)
ほっと一息

- 14:55 **特別講演** **島蘭 進**先生(上智大学グリーンケア研究所 所長)
ナビゲーター 樋野興夫先生(順天堂大学 名誉教授・がん哲学外来 主宰)

みんなでお茶の時間トーク

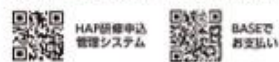
- 16:10 「山谷も頑張っている… 生きることの意味」／吐師秀典氏(NPO法人友愛会 理事長)
- 16:30 「小児在宅医療現場からの思い」／戸谷 剛先生(子ども在宅クリニックあおぞら診療所墨田 院長)
- 16:50 「よりよく生きることを考え、将来につなぐ よく考えて生きる」
／川田龍平氏(参議院議員)
- 17:10 クロージングトーク 樋野興夫先生
- 音楽の時間 わおん／各自が各々の場所でお菓子お茶お酒などたしなむ
- ピアノ&バイオリンの調べ Natsumi Yoshida & Shiori Ashley Yoshida
- 18:00 閉会

対象	“がん”とともに生きている方・家族の皆様、医療従事者、行政担当者、その他がん哲学外来に興味のある方
運営 コアスタッフ	宮原富士子(薬剤師) 西澤文恵(介護支援専門員) 倉持雅代(看護師) 村上美恵子(看護師、ケアマネジャー) 土屋千雅子(薬剤師)

参加費

- 一般市民の方
◎浅草かんわネットワーク
研究会会員
- 無料 フォーム

上記以外の医療介護者 ▶ 1,000円
(HAP年間パスポートは使えません)



主催:勝海舟記念下町(浅草)がん哲学外来 お問い合わせ先(担当:みやはら):TEL090-7702-8925 / FAX03-3876-9084
共催:NPO法人浅草かんわネットワーク研究会 NPO法人HAP(Healthy Aging Projects For Women) 後援:一般財団法人マイウエイ協会

画像 1



画像 2